調達業務仕様書
【既設電子カルテをスマートフォンで稼働させるシステム】

1. 概要
・当院既設電子カルテ（Newton2）をモバイル端末で稼働させるシステム

2. 端末・動作環境要件
・モバイル端末（スマートフォン・タブレット等）に対応すること。
・マルチデバイス・PC 連携：モバイル端末と電子カルテ端末（Windows PC 等）が
連動し、データの一体的な管理および連携運用が可能であること。

3.システム基盤・連携
基本要件
ライセンス無制限（制限がある場合は提案数および追加費用を明示）。

電子カルテ連携
患者属性,職員,感染症アレルギー,入退院移動情報をリアルタイム連携し 2 重入力防止。

4.患者管理・スケジュール

患者選択・検索
氏名順/コード順検索、病棟,病室,ベッド番号,看護師,チーム単位の絞込み一覧表示。

患者詳細情報
基本情報,主病名,感染症,禁忌,相関図を含む家族情報,同姓同名アラート,患者コメント。

スケジュール管理
処方・注射・処置・検査・リハビリ・手術・透析・輸血・看護計画などの予定一括表示。

4. 参照・照会業務
オーダー参照
投薬・注射・処置・検査・リハビリ・輸血等のオーダー履歴参照。

カルテ参照
診療科別絞り込み表示、前回表示条件の記憶保持。

検温結果
バイタルグラフ・履歴表示、経過表パターンの切り替え。

検査結果照会
臨床検査履歴、異常値のカラー強調表示、特殊検査結果のマスキング表示。

5. 認証・実施業務
患者認証
バーコード等による患者コード・実施者認証。

注射・点滴実施
ラベル照合（誤照合・特定薬剤のアラート）、実施登録および経過表への自動反映。

輸血実施
製剤ラベル認証、実施者・確認者の 2 重認証、実施前後バイタル・副作用の記録。

採血管確認
患者・検査項目照合、採血管ラベル認証。

指示・処置実施
医師/看護指示の実施登録,追加薬剤点数コード入力,未実施/実施済ステータス絞り込み。

インスリン投与
血糖値入力,定期/スケーリング指示連動、注射ラベル認証

服薬実施
内服・外用・頓用の実施入力、残薬編集、理由登録、薬歴照会。

6. 記録・カルテ入力業務
カルテ記載
診療科連動,重要度・画像添付,未入力警告,ワードパレット,音声入力,OCR 引用。

経過表入力
検温データ・コメント登録,カルテ引用連携,NFC 通信によるバイタル計測機器連携。

7. カメラ撮影・画像管理
部位・用途別撮影
褥瘡（計画日・部位紐付け、データ未存在警告）,評価管理（評価種別・時間）
　　シャント（術式・回数）,患者一般画像。

属性登録
撮影日時・部位等のメタ情報登録と一覧表示。

8. コミュニケーション・情報共有
患者トーク
入退院連動のトークルーム自動生成/終了、病室・発言順ソート、動画/静止画投稿、返信・リアクション、カルテ引用、PC（Windows）連携、メディアの自動期限削除。

モバイルメモ
音声入力・定型文パレット、静止画添付、自動削除、PC への引用。

9.院内メール
受信・新規送信・送信済み・削除済みメールの基本送受信機能。

10. ハードウェア・仮想化要求仕様
サーバー機器は仮想化技術を用いて構築し、各サーバーに以下のスペック以上のリソースを割り当てること。

サーバー：
　　OS　：Microsoft Windows Server 2022 Standard Edition
プロセッサ：8 コア（仮想プロセッサ）
メモリ　　：16GB 以上
ストレージ：システム領域として 300GB 以上の仮想ハードディスク
ネットワークアダプター：2 基（院内用×1、保守用×1）

音声入力サーバー（AmiVoice）
　　OS　　：Microsoft Windows Server 2022 Standard Edition
プロセッサ　：8 コア（仮想プロセッサ）
メモリ　　：16GB 以上
ストレージ　：システム領域 250GB 以上+データ領域 250GB 以上の
　　仮想ハードディスク

ネットワークアダプター：2 基（院内用×1、保守用×1）

設置領域：DMZ 上
　　O S　：Microsoft Windows Server 2022 Standard Edition
プロセッサ　：2 コア（仮想プロセッサ）
メモリ　　：12GB 以上
ストレージ　：システム領域として 100GB 以上の仮想ハードディスク
ネットワークアダプター：1 基（DMZ 用×1）

以上